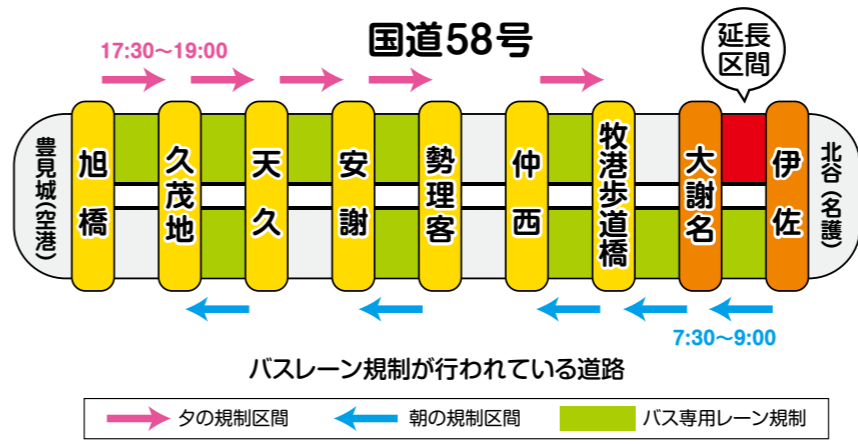


路線バスの利便性向上を目指して

国道58号のバスレーンを延長

バスレーンの延長について

わが国で唯鉄道がない沖縄県は、自動車への依存が高い社会となっており、慢性的な交通渋滞、路線バス利用者の減少、環境負荷の増大など、様々な課題を抱えています。



このようなか、県では、沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「人間優先のまちづくり」、「低炭素島しょ社会を実現するため、路線バスの利用促進に取り組んでおり、その一として、路線バスの定時性や速達性を向上することを目的に、バスレーンの延長を進めています。

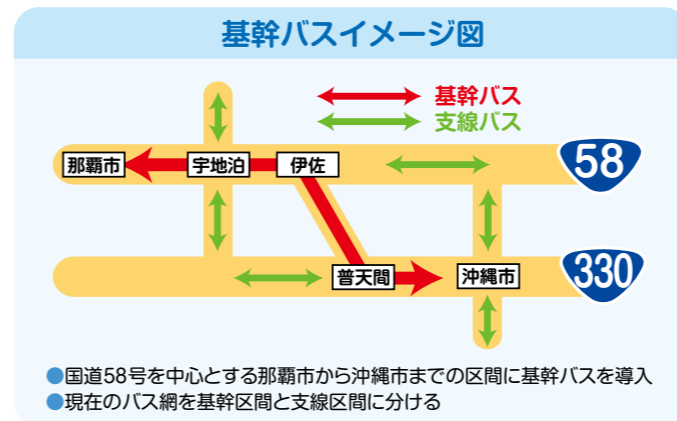


点から伊佐交差点付近までの区間についても、導入することとしています。本島中南部の交通渋滞の緩和には、道路網の整備に加え自家用車から公共交通利用への転換が重要であり、バスレーンの延長は、バスの利用促進に向けた利便性の向上を図るものでありますので、県民の皆様のご理解とご協力、交通ルールの遵守をよろしく願います。

基幹バスの導入について

現在のバス路線は、複雑かつ長距離のため利用者にとつてわかりにくく、定時・速達性も低い状況です。県では、関係機関と連携して、バスの運行本数の多い那覇市から沖縄市までの区間を基幹ルートとして位置づけ、定時・速達性が高く、多頻度で運行する基幹バスの導入を推進しています。

基幹バスは、①運行時刻を気にすることなく利用できる、②必要に応じて急行運行による速達性の向上、③バスレーンによる定時性の確保、



④行き先別カラーリングなどによるシンボル性を持たせたバスを目指しています。基幹バスの導入により、現在のバス路線を基幹区間・支線区間に再編するバス網の再編にも取り組むこととしています。



路線バスの利用環境改善の取り組みについて

県では、関係機関と連携して路線バスの利用環境を改善するため、様々な取り組みにも力を入れていきます。路線バスは少しずつ乗りやすくなっています！渋滞緩和はもとより、地球温暖化防止や健康増進のためにも、路線バスを利用してみませんか。

ノンステップバス



1 交通弱者を含む全ての利用者の乗降性に優れたノンステップバスの導入

電光表示器



2 停車バス停や行き先情報を多言語で表示する多言語対応電光表示器の導入

ICカード(OKICA)



3 バスやモノレールの乗降や乗車券購入時間の短縮と運賃精算の手間を軽減するIC乗車券(OKICA)の導入

バス停グレードアップ



4 バス停の快適性向上に向けて、上屋の整備や、大きく見やすい時刻表を掲示するバス停のグレードアップ

テレビCM

バス現在位置検索



5 バスの現在位置を検索できるバスロケーションシステムの導入

わった〜バス党



6 路線バスに親しみを持ってもらい過度な自家用車利用から路線バスへの利用を促す「わった〜バス党」による広報

施策(バスレーン延長・基幹バス・バスの利用環境改善)に関する問い合わせ
 沖縄県交通政策課 電話:098-866-2045

バスレーン延長に関する交通規制に関する問い合わせ
 沖縄県警察本部(代表) 電話:098-862-0110